



これからの 榎原

どうじゃ、いろいろな講がある事が分かったじやろう。どうせならわしも新しい講を提案してみたらどうじゃ。まず講のいいところは、近くに住む者同士が集まって作られているところじゃ。その利点から、例えばそうじゃのお、漫画を貸し借りする「漫画講」なんてのはどうじゃ？遠くの者とはできない重い漫画の貸し借りが、近くの者だと簡単にできるぞ。

他にも「ペット講」はどうじゃ？ペット好きの仲間が集まって自分のペットについて話し合ったり、育て方を相談したりするのじゃ。これも近くの者同士の利点で実際のペットを見たりなでたりし、癒されながらいろんな人たちと交流することができるぞ。

人々と関わる貴重な機会じゃから積極的に参加して行くといいのではないかじやろうか。それによって得られる経験は、かけがえのない物になると、わしは思うぞ。

紹介してきたように、榎原には昔からあるものが数多く残されている。この地は昔、参勤交代の時に使われた大名の宿場町だったため、その当時の宿だった所に今も人が住んでおったり、昔の建物のつくりである間口が狭く奥行きが深い独特の家屋構造をそのまま残して当時の店名や屋号を使っている家も多かったりするのじゃ。なかにはここ榎原にしかもう残っておらんものまであるからのお。本当にすごい事だと思ふのじゃ。



それはやはり地域の人々が榎原の大切な文化を残していきたいと強く想っているからこそ実現できている物じゃとわしは思いとても感動しているのじゃ。

榎原は旧と新が共存する、とても魅力的な地域じゃ。この榎原の良さを大切にして、地域の集まりにどんどん参加して、ってほしいと思うのじゃ。

編集後記

京都市立芸術大学
ビジュアルデザイン専攻4年生



榎原には昔の伝統ある町屋の造りをうまく残してお店を開いている所がいくつかあってのお。今回はそのうちの一つを紹介しようかのお。

榎原公会堂の近くの「ちやーみーちや」というお店なのじゃが、ここはなんと築百二十年らしいぞ。柱や梁、そして柱時計などが年経を感じさせており、内装がとってもおしゃれなのじゃ。女性のお客さんも多く、若い人もとても入りやすい良い雰囲気じゃったし、ここで食べたケーキはとても美味しかったぞ。

コラム 生まれかわる町屋

榎原の地図じゃぞ

これを参考にまわってみるのじゃぞ！



榎原学区

京都市西京区の一部で、南北に通じる物集女街道、東西にのびる山陰街道の結節点にあたるぞ。物集女街道は北摂から京都市域に入る幹線道路であり、嵐山に通じる。四条街道と通じ、梅津や桂、嵐山の木材港湾と通じる古くからの商業路である。

山陰街道は大枝山方面から丹波地方にのびる幹線道路である。榎原はこのような交通の要衝であることから、古くから街道町として栄えたそうじゃぞ。丹波方面の計略を命じられた戦国時代の明智光秀による整備の歴史も語られており、幕末には志士を匿う豪商も多く存在したそうぞ。

また榎原は周辺から数々の古墳や白鳳時代の古代寺院跡が発見されている事から、時代をさかのぼること古くより栄えていた事がわかっているぞ。現在も交通の要所である一方、洛西ニュータウンと京都市域の連絡路であり、住宅街でもあるのじゃぞ。

教えて榎原!!

ー西京魅力探訪ー

かじじいの

講ってなごぞや？

わしの名前は榎の木じ、みんなにはかじじいと呼ばれてある。今日は榎原の、特に講のすばらしさを皆に紹介させてもらおうぞよ。



講と榎原の町並み

岡村八講

榎原には有名な八つの講があって、それを岡村八講というのじゃ。行講、明神講、伊勢講、観音講、蔵王講、地藏講、大師講、養正講がある。また、それ以外にも尼講や愛宕講も有名じゃ。講の由来は土一揆にある。昔は人が集まっていると土一揆を企てられると思われ、幕府につぶされる恐れがあったので、それを逃れる為に「講」という名前で活動を始めたそうじゃ。

観音講

個人の集まりの講で、5年で仕切られておる。毎月十七日に交代でお務めをしていたのじゃが、最近では皆が集まりやすい土曜日になっておるそうじゃ。西国三十三番の御詠歌を唱えて信仰をしておる。昔は米ぬかのみを食べて山登りをしたりしたこともあったそうじゃぞ。



行講

Q. 講にいる人で、何歳ぐらいの人が一番若い?
A. 一番若い人で45歳ぐらいじゃ。それより若い人の間ではまだ講は作られていないそうじゃぞ。

榎原の中では一番古い講で講の元祖じゃ。榎原土着の人の信仰で、福成寺の権現堂を崇拝しておる。家同士の付き合いの講であり、親から子に伝えられるため、新しい人が入る事ができない講じゃ。最初はみんな力を合わせて何かをしようと思ったのが始まりで、行(ぎょう)の始まりであるぞ。現在は皆で集まって餅つき屋をしているのじゃ。



明神講

現在では存在していない講じゃ。神輿の運搬をしていた、青年部の講だったそうじゃぞ。その神輿は現在三ノ宮神社に保管してあるのじゃ。



Q. 榎原の名前の由来って何?
A. 字の通り榎の木が名前の由来となっておる。わしの頭にのっている帽子も榎の木、どんぐりをイメージしておるのじゃ。



さてさて、今日は榎原の見所。特に講について語ろうかのぉ。
講とは親族または地区、同業者の人たちで作られたコミュニティのことで、何か信仰対象や目的があって集まった人達の単位のことじゃ。活動形態はそれぞれの講によって違うのじゃ。その歴史は江戸時代によってさかのぼるのじゃぞ。

かしじ、二問一答
もあるよ!



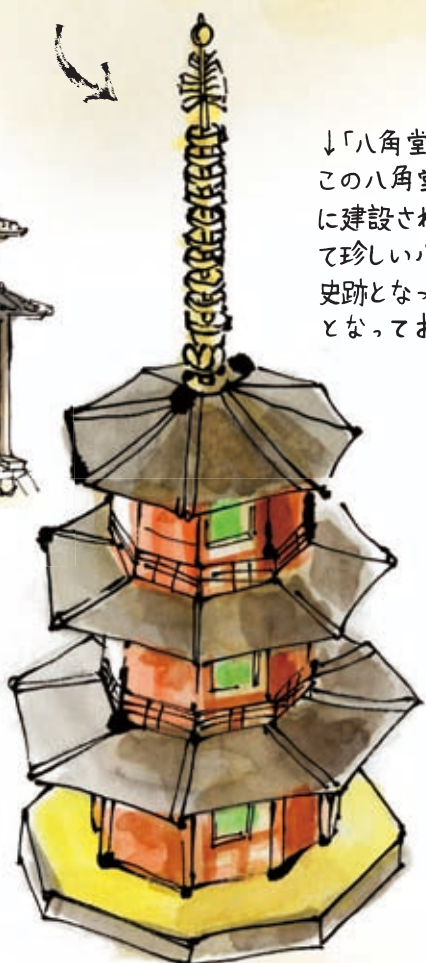
↑「愛宕山」
愛宕山は全国各地にあるのじゃがなかでも京都市の右京区にある愛宕山には愛宕神社の総本山があるのじゃ。



↑「町屋」
旧街道には伝統的な作りの町屋が沢山残っているのじゃが、二階の格子状の窓の部分を見てご覧なさい。あれは「虫籠窓」というもので、位の低いものが大名行列を見下ろさないように虫籠のような格子をはめた事からその名がついたといわれとる。また榎原には「ぼったり床几」といって、使うときだけバタッと出て来る椅子が有るのじゃ。縁側みたいなもんじゃな。



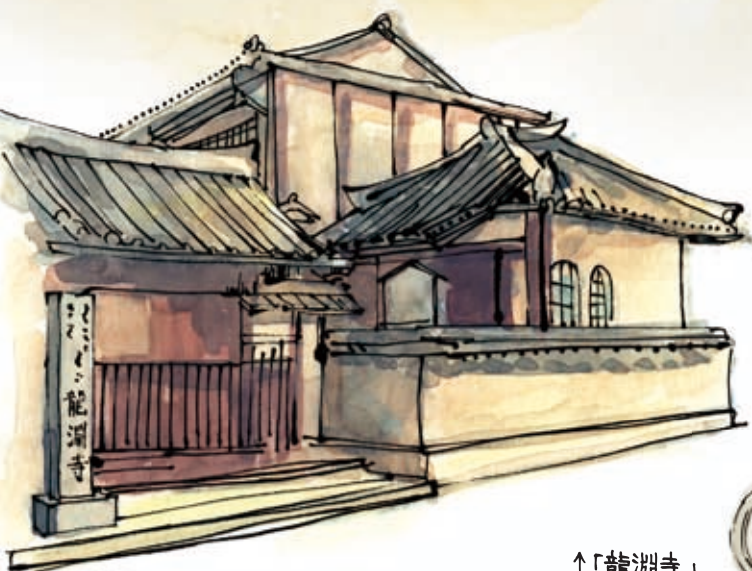
↓「八角堂」
この八角堂は榎原廃寺跡にあるものじゃ。白鳳時代に建設されたこの廃寺跡は、国内でも発見例の極めて珍しい八角形の塔のものであったことから国指定の史跡となったのじゃ。しかし現在は八角堂はなく、跡地となっておる。



↑「油壺」
この油壺はこの地で長州藩御用達の油商を営んでおった小泉に左工門の当時のものじゃ。



↑「郷倉」
郷倉は年貢米等を収蔵する為のものだったそうじゃ。榎原は山陰街道きっての物資集積地であったからおおいに活用されたそうじゃのお。



↑「龍淵寺」
丹波の国の部下、雲林院式部承高任が名を太郎左工門入道と改め、佛門に入り建てたお寺じゃ。日夜念仏を唱え百八才の長寿を全うしたそうじゃ。右のお地蔵さんは無病息災・諸願成就・安産に靈驗あらたかなお地蔵さんとして祀っておるのじゃ。地蔵の前で榎原の街道を行き交う人々に湯茶を振る舞っておったと伝えられておる。



愛宕講

町内の集いの講で、かつては隣組の信仰であったと言われている。現在では決まった事を報告する町内会となっているぞ。



伊勢講

Q. 榎原の歴史についてもっと詳しく知りたいんだけど、どこに行ったらいいの?
A. 京都市営地下鉄の烏丸線北山駅の近くにある京都府立総合資料館に行くといいぞ。講が始まるも、昔の歴史も知る事ができるじゃろ。



文化元年に作られたと言われていて、五年で仕切られている講じゃ。
家の付き合いの集まりで、親から子に伝えられるため、新しい人が入る事ができない講じゃぞ。三十三番の御詠歌を唱えてお伊勢様の信仰をしており、現在では十六個の伊勢講が存在しているのじゃ。

Q. 三十三番の御詠歌の三十三って何を表しているの?
A. 観音菩薩が衆生を救うとき、33の姿に変化するという信仰に由来すると言われておるの。ちなみに西国三十三所の観音菩薩を巡礼参拝すると、現世で犯したあらゆる罪業が消滅し、極楽往生できるとされておるのじゃ。



尼講

お寺の女性の講じゃ。現在は五つあるうちの二つが尼講をしてるぞ。龍淵寺では月一回、十五日(七月と八月は二十三日)にお地蔵様の前で念仏を唱えておる。現在では龍淵寺婦人会という名になっておるぞ。無量院では毎月十七日に三十三番の御詠歌をあげておるのじゃぞ。

地藏講

現在では存在していない講じゃ。龍淵寺にある北向き地蔵を崇拝し、勤行をし、お経を上げていたそうじゃぞ。

